

敬老会を開催

多年にわたり、村の発展にご尽力いただいているお年寄りに感謝し、長寿をお祝いする佐井村敬老会を10月4日(金)、アルサスしおさいホールで開催しました。

当日は、村内在住の75歳以上の高齢者約100名の方が参加され、佐井村保育所児童による御神楽や元気いっぱいの遊戯、佐井婦人会による余興や参加者のカラオケなど、和やかな雰囲気の中楽しい一日を過ごしました。



祝100歳

10月4日(金)の敬老会開催に先立ち、今年満100歳を迎えられます太田あいさんに内閣総理大臣からのお祝い状と記念品、青森県知事からの知事顕彰状の伝達式が行われました。

太田さんは、大正2年七戸町で生まれ、七戸町の女学校を卒業後当時の伝相寺住職の紹介で佐井村に嫁がれ、これまでに、子ども7人、孫13人、ひ孫20人、玄孫1人に恵まれました。

太田さんはこれまでを振り返り「簡単に100歳になった気はするが、世の中がこんなに進歩するとは思わなかった」と笑顔で話され、長寿の秘訣をお尋ねすると「くよくよせず、何事も前向きに考える」ことだそうです。今でも新聞を読んだり自宅で営む呉服店の店番をしたりしています。

太田さんは敬老会当日に伝達式があることを家族から伝えられたらしく、大変驚いたとのことでしたが、内閣総理大臣や県知事からの受賞をととても喜んでいました。



三上剛太郎先生の胸像を寄附

フランスのパリ市で彫刻家として活躍している宮野亜貴子さん(大佐井出身)が、「三上剛太郎先生の功績を広く人々に知ってほしい」として、和紙などで制作した胸像を佐井村に寄贈され、この度海峡ミュージアムに展示しました。

宮野亜貴子さんのホームページ <http://www.akikomiyano.fr>

